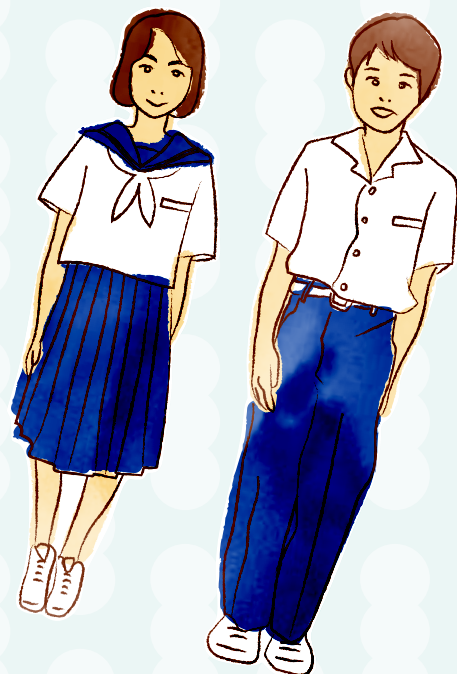




文京マガジンを作ろう

中学生と専門家のコラボレーションによる情報誌の制作活動



第1回

8/26 日

13:00 ~ 16:00

取材先決定!

レクチャー
取材方法・写真の撮り方

募集対象：文京区に在住・在学の中学生

参加費：¥3,000

(講座4回分、取材代、保険料、資料代を含む)

過去の取組みや詳しい情報は
HPをご覧ください

【主催】クリエイターチーム カラフル 【申し込み・問い合わせ先】クリエイターチーム カラフル

【TEL】03-5577-3150 【MAIL】mail@colorcode-inc.com 【共催】株式会社カラーコード・特定非営利活動法人 NPO サプライズ

この事業は文京区社会福祉協議会の「B チャレ」(提案公募型協働事業)の助成事業です

COLOMAG
コロマガプロジェクト project



社会福祉法人
文京区社会福祉協議会

中学生と専門家のコラボレーションによる情報誌の制作活動 文京マガジンを作ろう

MiTaMiYo!! は文京区の小学4年生～6年生が、自分たちの住む文京区のお店・会社・施設の取材をして、クリエイティブのプロの人たちと一緒に作ったローカルマガジン（情報誌）です。

今回は中学生の皆さんと一緒にちょっと大人な **MiTaMiYo!!** を作っていきます！

このプロジェクトは、エディター・カメラマン・ライター・デザイナーから写真の撮り方・文章の書き方・イラストの描き方などのプロの技を教えもらい、取材先で出会ういろいろなプロフェッショナル・職人さん・知識人の仕事場を見学・体験をします。そして皆さんの目線で様々なお店・企業・施設・地域を取材し、オリジナルの情報誌と一緒に作ってみんなに発信しましょう！この夏休みに、普段では出来ない体験をたくさんしてもらいたいと思います。

MiTaMiYo!! についてはHPをご覧ください。(http://www.mitamiyo.net/)

第1回

8/26 日

13:00～16:00

エディター・カメラマンから 取材方法をレクチャー

情報誌の作り方を、それぞれのプロがレクチャー。インタビューのコツや写真の撮り方が知れるチャンス。

取材先を決定

文京区にはいろいろなお店や企業があります。行きたい取材先を決めよう。

第2回

8/27月～31金

(この期間に2～4日の取材)

時間は場所によって異なります

また、取材先の都合により9月平日の放課後に取材の可能性あり

取材へ

お店や企業へ取材に。レクチャーされたことを生かして、どう感じたか何が面白かったか、自分なりの取材メモを作ろう。

担当記事を決める

取材後、記事・イラストの担当を決めます。

※次の講座までに、取材したことをまとめておくと次回記事を書くとき役に立つよ！

第3回

9/15 土

13:00～16:00

ライター・デザイナーから 記事の書き方を教えてもらおう！

取材をもとに記事に起こす方法をプロからレクチャーしてもらおう。

記事を書こう

レクチャーで学んだことを生かして、みんなと相談しながら記事・イラストを書こう。

第4回

11/10 土

13:00～17:00

制作物完成・振り返りレクチャー

情報誌づくりを通して感じたこと、完成したものを手に取った時の気持ちなどを話し合ってみよう。

取材先や協力してくれた人たちへお届け各取材先へ情報誌を届けに。直接、感想や反応を感じに行きましょう。

ご注意

◎原則として、4回全ての講座に参加してください。

◎現地取材は、5グループ程度(参加人数によって調整します)に分かれて行動します。取材には大人のスタッフが同行します。

◎取材日は、集合場所から徒歩で移動します。集合場所までの交通費は各自でご用意をお願いします。自転車利用の方はご連絡ください。

【場 所】 第1回 区民会議室 5-C (文京シビックセンター 5階)

東京都文京区春日 1-16-21

第3・4回 地域連携ステーション (フミコム)

東京都文京区本郷 4-15-14 文京区民センター地下1階

※都合により場所が変更になる可能性があります

【募集対象】 文京区在住・在学の中学生

【人 数】 20人 (申し込み先着順)

【参加費】 ¥3,000 (講座4回分、取材代、保険料、資料代を含む)

【講師紹介】



藤井 将
(pal system/ 編集者・プランナー)
出版社勤務後、子育て支援のNPO職員を経て現在、pal systemにて『食と農と平和』をテーマに媒体編集をプロデュース中。



八幡 宏
(フリーカメラマン)
光と影にこだわり、主に人物・料理・インテリアなどを撮影。4月発売「お豆腐 × お野菜でつくる 美人薬膳ごはん」(キラジェンヌ)を担当。



有川美紀子
(現場取材にこだわるライター)
「オガサワラオオコウモリ森をつくる」(小峰書店)、「でかけよう！ 私たちの社会科見学」(偕成社)、「小笠原が救った鳥」(緑風出版)などの著書がある。



浅井由剛
(株式会社カラーコード代表取締役)
(クリエイターチームカラフル代表)
COLOMAG PROJECT リーダー。明治大学サービス創新客員研究員。芸術思考研究会研究員。京都造形芸術大学非常勤講師。芸術思考学会理事。

COLOMAG project

コロマガプロジェクト

子どもたちが、クリエイティブのプロと一緒に、自分の住む地域や町を取材して、記事を書いて、イラストを描いて、写真を撮って、情報誌を作るプロジェクトです。

お申し込み方法

下記のメール、QRコードから読み取れる申し込みフォームにてお申し込みください

クリエイターチーム カラフル

TEL 03-5577-3150 MAIL mail@colorcode-inc.com

HP http://www.mitamiyo.net/



文京区
社会福祉協議会
「Bチャレ」
助成事業

文京区の中学生で
文化部・帰宅部で、運動は得意じゃないけど、
ものを作ったり描いたりするのが好きな人や、
将来、クリエイティブな仕事をしたいみなさんへ!!

プロと一緒に、 雑誌をつくる。 仕事ができる。

プロジェクト

文京区のローカルマガジン 制作チーム募集!!

参加費
無料

クリエイティブのプロからこんなことが学べるチャンス!!



Writing

読みたくなるような
文章の書き方



Drawing

シンプルでかっこいい
イラストの描き方



Photographing

SNSで一際目立つ
写真の取り方

【主催】クリエイターチーム カラフル 【申し込み・問い合わせ先】クリエイターチーム カラフル

【TEL】03-5577-3150 【MAIL】mail@colorcode-inc.com 【共催】株式会社カラーコード

この事業は文京区社会福祉協議会の「Bチャレ」(提案公募型協働事業)の助成事業です。

事業名：中学生と専門家のコラボレーションによる地域情報誌の制作活動プロジェクト

COLOMAG
コロマガプロジェクト project



社会福祉法人
文京区社会福祉協議会

作る力が必要な仕事があります。 それが雑誌を作る仕事です！

勉強よりも運動よりも、作る力（絵を描いたり、詩を書いたり、写真を撮ったり、物を作ったりする力）が必要な職業があります。それがクリエイターです。
そのクリエイターの力が集まってできるのが雑誌です。
文京区の情報発信する雑誌をプロのクリエイターと一緒に作って見ませんか？！

クリエイティブを教えてくれる先生たち

取材の心得や企画を教えてくれる



ふじい すずむ
藤井将先生
(pal system/編集者・プランナー)

出版社勤務後、子育て支援のNPO職員を経て現在、pal systemにて「食と農と平和」をテーマに媒体編集をプロデュース中。



写真の撮り方を教えてくれる



やはた ひろし
八幡宏先生
(フリーカメラマン)

光と影にこだわり、主に人物・料理・インテリアなどを撮影。4月発売「お豆腐×お野菜でつくる 美人薬膳ごはん」(キラジェンヌ)を担当。



文章の書き方や伝える力教えてくれる



ありかわ みきこ
有川美紀子先生
(現場取材にこだわるライター)

「オガサワラオオコモリ森をつくる」(小峰書店)、「でかけよう！ 私たちの社会科見学」(偕成社)、「小笠原が救った鳥」(緑風出版)などの著書がある。



デザインを教えてくれる



あさい ゆうご
浅井由剛先生
(株式会社カラーコード代表取締役)
(クリエイターチームカラフル代表)

COLOMAG PROJECTリーダー。明治大学サービスイノベーション研究員。芸術思考研究会研究員。京都造形芸術大学非常勤講師。芸術思考学会理事。



プロジェクトに参加するメリット

- ・部活や趣味が将来の仕事に繋がるきっかけになります。
- ・インスタ映える写真が撮れる様になります！
- ・ふだん行けない会社やお店や施設の中に入れます。
- ・大好きな絵を描くことや、文を書く事がいろいろな人の役に立ちます。
- ・自分の描いた絵や、書いた文章や、企画がした事が雑誌と言う形になって残ります。
- ・このイベントの経験が高校受験の面接に使えると実体験があります！
- ・面接の時皆が部活の経験を中心に話をするなか、部活や趣味・将来の目標等の話に+αの話題に。

まだまだいっぱいメリットあります！



プロセスとスケジュール

10月下旬

11月上旬

11月~12月

12月下旬

2月上旬

1 プロから教わる

取材の心構えから、文章を書くコツや、絵の描き方などレクチャーを受けます。

2 企画を立てる

取材先のピックアップ、雑誌を通して伝えたいことなどを企画を立てていきます。

3 取材をする

ピックアップした取材先に、レクチャーで教わったコツを活かして、取材をしに行きます。

4 記事を作る

取材した内容を元に、記事を書いたり、イラストを描いたり、写真の選定をします。

5 情報誌を届ける

完成した情報誌を届けたり、取材をさせてもらった店舗や施設に感謝を伝えに行きます。

こんな雑誌を作ります

3000冊配布予定



A5サイズ、32ページの中綴じ製の雑誌です。フリーペーパーなので無料で配布されます。
設置場所は、文京区内の公共施設、図書館、取材させてもらった店舗や施設等になります。小学生版の情報誌は、とても人気ですが品切れになってしまいます。

保護者の方へ

クリエイティブのプロとの協働で、制作に必要なスキルを実践的に学びながらクリエイティブの根幹である自分の感情と向き合い、それを表現する体験が出来ます。雑誌作りに関することで、人に伝える事に関心が高まり、創造力を活かすきっかけとなります。
クリエイティブな力はこれからの社会では、とても重要な力となります。また、2020年に改正されるセンター試験対策としても、「地域交流・地域活動の経験は役に立ちます。」と言われています。この機会にクリエイティブな活動に参加してはいかがでしょうか。

COLOMAG project

子どもたちが、クリエイティブのプロと一緒に、自分の住む地域や町取材して、記事を書いて、イラストを描いて、写真を撮って、情報誌を作るプロジェクトです。そして、この取り組みはキッズデザイン賞を受賞しました。

キッズデザイン賞受賞



KIDS DESIGN AWARD 2018

お問い合わせと申し込み

【会場】文京区内公共施設や学校内(学校ごとに応相談)

【募集対象】文京区に在住・在学の中学生 【人数】20人程度(申し込み先着順) 【参加費】無料
部活・学校ごとにご相談いただき、下記のメールアドレスからご連絡ください。個人でのお申し込みもお待ちしております。お気軽にお問い合わせくださいませ。

クリエイターチームカラフル(株式会社カラーコード内) 担当:木村
☎ 03-5577-3150 ✉ mail@colorcode-inc.com

文京区の中学生在がプロのクリエイターと一緒に作ったローカルマガジン

MiTaMiYo!! Teens

みたみよ!!

2019 Vol. 1



ぶんねこの会 文京区青少年プラザb-lab 東京大学総合図書館
NECネットエスアイ株式会社 本社
宇宙ミュージアムTeNQ B-PUMP TOKYO AKIHABARA
IENA 今川焼 千駄木 妻戀神社

文京区の中学生 × クリエイター

文京区の中学校に通う子どもたちが
クリエイターとコラボレーションで作った
ローカルマガジン（地域情報誌）が
この「MITAMIYO!! Teens」です。

子どもたちが、自分たちが通う町「文京区」取材して
町の魅力やそこで働く「人」に注目して
感じたこと・伝えたいことを表現しています。
クリエイターは、子どもたちが自分の気持ちを表現するための
企画の立て方、文章の書き方、写真の撮り方、イラストの描き方を指導して、
子どもたちの思いを綴った文章や写真やイラストを
世界に誇れる冊子に仕上げていきます。

今回の MITAMIYO!! Teens は
3つの中学校から集まった中学1年生から3年生の24人が
企業や店舗に行き、実際に話を聞いてまとめたものです。

ぜひ、大人が作った情報誌には載っていない
文京区の魅力をお楽しみください。

「MITAMIYO!!」は小学生が作る冊子もあります。
「私もやってみたい」という人はぜひ事務局に連絡ください！

この冊子は、文京区社会福祉協議会の「Bチャレ」（提案公募型協働事業）の助成事業として活動を行い制作しました。



MITAMIYO!! の制作活動をはじめとした
「子どもたちが作るローカルマガジン COLOMAGA project」は
2018年のキッズデザイン賞を受賞しました。



書く！撮る！撮る！
子どもたちが作るローカルマガジン
COLOMAGA
project
コロマガプロジェクト



- P4 人と動物の共生を考える
ぶんねこの会
- P6 なんでも挑戦できる中高生の秘密基地
文京区青少年プラザ b-lab
- P8 過去と現代がミックスされた知の宝庫へ
東京大学総合図書館
- P10 ワクワクする仕事場に潜入！
NECネットエスアイ株式会社本社
- P12 宇宙を体感
宇宙ミュージアム TeNQ
- P14 東京の中心でライミングができる
B-PUMP TOKYO AKIHABARA
- P16 材料にこだわったパン屋さん
IENA
- P18 人と人を繋ぐ
今川焼 千駄木
- P20 ようこそ神話の恋物語へ
妻戀神社
- P22 みんなで取材したところ
取材 MAP
- P24 編集後記
- P26 COLOMAGA Project について

MITAMIYO!! のHPはこちら
www.mitamiyo.net





人と動物の共生を考える

ぶんねこの会

【ぶんねこの会】
bunneko.sakura.ne.jp
www.facebook.com/Bunnekonokai/

取材／伊織・創・望々香・円花・優海・結佳子
文／優海
イラスト／伊織・円花・優海



ぶんねこの会とは？

文京区が推進する「動物との共生社会事業」に協力するボランティアグループです。区の委託ボランティアを中心に平成22年に発足し、会員は約50名。文京区在住・在勤者を中心に活動しています。それぞれの地域で活動する個人ボランティアの集まりでもあり、会員それぞれが仕事や学校の合間に活動し、適宜協力や情報交換をしています。また、不幸な猫を増やさな

今、あなたにできること

今あなたにできることは、飼っている動物を責任もって大切に育てる



また、自宅で保護して里親探しをしたり、外で暮らす手術済みの猫を、マナーを守って世話している会員もいます。

猫が好きなのも嫌いな人も気持ちよく過ごせるよう、地域の人と話し合いながら活動しています。

具体的な活動

ことです。またペットショップから新たに家族を迎え入れるのではなく、保護猫や保護犬を迎え入れること。保護、里親探し、預かりボランティアなどの活動を始めてみることに。身近な人に話したり、動物たちのために声を上げることなど、たくさんできることがあります。あなたたちができることが動物たちの幸せにつながっていきます。ぜひ活動に協力してほしいです。

ぶんねこの会の目標

人と動物が互いの暮らしを豊かにしながら共に生きていくことを目標として活動しています。猫や犬は人間に世話をされて生きていくように生まれてきているため、野生動物ではありません。つまり、猫や犬は人間と同じ社会に生きています。人間のための道具やアクセサリではなくパートナーとして生きていける社会を目指しています。

里親募集

可愛い猫たちが温かい家族に迎えられるのを待っています。ぜひ里親になることを検討してみてください。募集中の猫はFacebookをご覧ください。

会員募集

文京区の活動ですが、区民に限らずどなたでも入会できます。学生でも保護猫の世話を手伝うなど簡単に活動へ協力できます。可愛い猫たちに会えるチャンスです！

Q 活動に協力したい!けどお金が...

A 文京区の場合、事前に保健所に申請すれば飼い主のいない猫の不妊手術費用の助成が受けられます!また、区民ならどなたでも申請が可能でほぼ自己負担なしで手術ができます。また、区の委託ボランティアが活躍し、適正飼育を支援しています。

Q エサやりは法律で禁止?

A 法律は虐待や遺棄を禁止しています。「置きエサ」は不衛生でカラスやネズミのエサになるので良くありませんが、飼い主のいない猫にエサをやること自体は、文京区では禁止されていません。避妊・去勢手術をして地域で世話をすることが推奨されています。



皆さんはノラ猫やノラ犬は自由に生きていて幸せだと思いますか? 飼い主のいないノラ猫やノラ犬は、実は自由きままに過ごしているように見えますが、沢山のリスクと戦っています。

例えば、人間による交通事故や虐待、気温の変化による体調不良など命に関わるたくさんの危険が猫や犬の周りにはひそんでいます。そんな猫や犬を救うためにボランティア活動を行っている「ぶんねこの会」へ取材に行きました。

私はノラ猫やノラ犬や保護猫は、ペットショップの子たちにも負けなくらいかわいい!ということ、不幸な動物たちがいることをこの記事を読んで知ってもらいたいです。



「b-lab」が誕生した経緯は、区が設置する会議で「中学生に自由な居場所が必要だ」という提言等があり、福祉センターと教育センターの機能を併せ持つ新しい施設を作るにあたり、具体化したそうです。区内初の中学生向け施設として、平成27年に開館しました。

「b-lab」は施設が充実しているため、多くの多種多様な行事が行われます。プレイヤードや軽運動室があることからスポーツ関連の行事はもちろんのこと、絵やプログラミング関連の行事も行われています。中でも、スポーツ関連

の行事のうちの一つには「ポッチャ」と呼ばれる運動の試合があります。ポッチャとはパラリンピックの競技のうちの一つでジャックボール（目標球）という白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げ、転がし、他のボールに当たることによって、いかに近づけるかを競うスポーツです。このように説明すると、「一見ポッチャは遊ぶところしかないように思えますが、実は勉強をすることができるスペースがあるのです。2階にある研修室は静かに集中して勉強ができ、テスト前にはたくさんの中生が利用しているそうです。また、b-labはFreeWi-Fiがあるため、インターネットを自由に使用することができます。利用しに来る人は、やりたいプロジェクトのために企画を自分たちで考えてみたり、友達と遊びたい人や、運動したいといった人など、多くの人が来るそうです。

また、b-labの有志の中学生や高校生たちが編集し発行している「ChatChatCha!」という冊子があり、文京区内にある中学校、高校に配布されています。この冊子を作っている高校生の人に話を聞いたところ、「違分野に挑戦してみたかったから」と言っていました。この冊子を作るには「イラストレーター」というプロも使用するソフトを使用していて、作るのなかなか大変なことだそうです。b-labの館長白田さんからみるb-labに来る学生たちは、楽しくワイワイできるような存在で、「負けていけない」と思える、元気をもらえる存在だそうです。これを機に、友達と一緒にこの近辺で遊ぶときには、まずはここに来て遊んでみるのはいかがでしょうか。

設けて、施設の共用や事業の協力を行っています。因みに、教育センター（Q-100）が建てられた場所には旧文京総合体育館がありました。

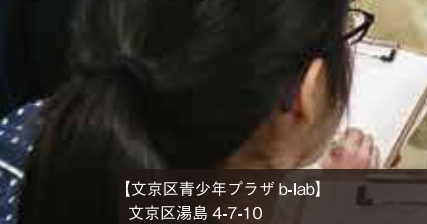
b-labには沢山の部屋や設備があり、それを基本は自由に使うことができます。例えば、卓球などの運動ができる軽運動室、壁を動かして料理ができて且つ作ったものを食べることもできるスペース、必要に応じて工作することもできる多目的スペース、完全防音でバンド等に必要楽器が全部揃っている音楽スタジオ、屋外にあるプレイヤード等があります。このように、b-labは施設が充実しているため、多くの多種多様な行事が行われます。プレイヤードや軽運動室があることからスポーツ関連の行事はもちろんのこと、絵やプログラミング関連の行事も行われています。中でも、スポーツ関連

また、b-labの有志の中学生や高校生たちが編集し発行している「ChatChatCha!」という冊子があり、文京区内にある中学校、高校に配布されています。この冊子を作っている高校生の人に話を聞いたところ、「違分野に挑戦してみたかったから」と言っていました。この冊子を作るには「イラストレーター」というプロも使用するソフトを使用していて、作るのなかなか大変なことだそうです。b-labの館長白田さんからみるb-labに来る学生たちは、楽しくワイワイできるような存在で、「負けていけない」と思える、元気をもらえる存在だそうです。これを機に、友達と一緒にこの近辺で遊ぶときには、まずはここに来て遊んでみるのはいかがでしょうか。

また、b-labの有志の中学生や高校生たちが編集し発行している「ChatChatCha!」という冊子があり、文京区内にある中学校、高校に配布されています。この冊子を作っている高校生の人に話を聞いたところ、「違分野に挑戦してみたかったから」と言っていました。この冊子を作るには「イラストレーター」というプロも使用するソフトを使用していて、作るのなかなか大変なことだそうです。b-labの館長白田さんからみるb-labに来る学生たちは、楽しくワイワイできるような存在で、「負けていけない」と思える、元気をもらえる存在だそうです。これを機に、友達と一緒にこの近辺で遊ぶときには、まずはここに来て遊んでみるのはいかがでしょうか。



b-labの施設



【文京区青少年プラザ b-lab】
 文京区湯島 4-7-10
 ☎03-5800-2731
 開館時間：月曜日～日曜日
 毎日9時～21時（中学生の利用は20時まで）
 b-lab.tokyo/

b-labのフリーペーパー

また、b-labの有志の中学生や高校生たちが編集し発行している「ChatChatCha!」という冊子があり、文京区内にある中学校、高校に配布されています。この冊子を作っている高校生の人に話を聞いたところ、「違分野に挑戦してみたかったから」と言っていました。この冊子を作るには「イラストレーター」というプロも使用するソフトを使用していて、作るのなかなか大変なことだそうです。b-labの館長白田さんからみるb-labに来る学生たちは、楽しくワイワイできるような存在で、「負けていけない」と思える、元気をもらえる存在だそうです。これを機に、友達と一緒にこの近辺で遊ぶときには、まずはここに来て遊んでみるのはいかがでしょうか。

なんでも挑戦できる中高生の秘密基地
 ビーラボ

b-lab

「学校を超えた楽しい仲間に出会える！出会いがある！b-labを楽しむ場所にするのは、遊びにくる中高生のみならず。楽しいをつくる一員になってほしい！」元気な大きい声と笑顔が印象的な館長の白田さんや高校生に話を聞きました。施設が充実していて、色んなことができるb-lab取材に行きました。



取材/愛華・伊織・薫子・春圭・平蔵・円花
 文/平蔵 イラスト/愛華・薫子



ようこそ!!

中は、時代をさかのぼった、ハリーポッターの Hogwarts 城の中に入ったような、そんな感じがします。入口をくぐるとたん、天井が高く、暗めなのに解放感があつて、それなのに、セキユリティーは現代的で、過去と現代がミックスされています。この雰囲気、分かるかなあ。僕は写真係もしており、腕章をはじめ、許可が出たところのみ撮影するように言われていてちょつと緊張していました。

まず、正面に階段があります。真正銘の大理石の大きな階段で赤い絨毯がしてあります。階段途中の大理石にはアンモナイトの化石があります。昔、東大でクイズに正解してアンモナイトの化石をもらったことを思い出しました。とにかく、格好いい大きな階段です。1階の記念室には、大きなシカのはく製がかざられていて、とても迫力があります。改装工事の真ん中にさしかかっ

た今は、コンピュータールームになっています。一人一人の席が大きくて、隅には大きなテーブルが置かれています。東大においてある文献は、厚かったり、大きかったりするのでテーブルにも広さが欲しいのか? また、部屋は暗めでした。多くの人が勉強しているようでした。それなのに、本当に静かで、入るときに「静かにね。」と言われましたが、暗さと空気に圧倒されて、自然に静かになる場所だと思いました。

最新のテクノロジー

今、改修の途中という話でしたが、すでに別館の自動書庫は完成しており、地中40メートルまで保管庫が整備され、コンピューター制御でベルトコンベアーに乗せられてお目当ての本が取り出されるそうです。その収容冊数3000万冊。関東大震災があったので、図書館は大変頑丈に建築されており、巨人が投げても大丈夫と言われているそうです。震災で焼けた旧図書館の建物があった場所にはレンガの基礎をかたどったベンチがあります。また、東京大学の本郷キャン

図書館を支える人々

僕は、「MITAMIYO!!」で細川家の永青文庫を取材させていただき、お宝がたくさん保管されていることやその管理がとても大変なことを知りました。東京大学附属図書館には、お宝がたくさんあります。司書さんは、「みんなの研究のためにいくらでも見て欲しい」と思っています。焼けてしまったので、本当はもっと古いものがあつたと思いますが、年代のわからないものもあります。室町



まるで、ハリーポッターの世界でした



音を吸収する天井



館内は静かにするのじゃぞ

時代のものだと把握できている貴重なものもあります。」とおっしゃっていました。僕の見えてきた一部を紹介させていただきます。

過去と現代が

ミックスされた

知の宝庫へ

東京大学総合図書館

東京大学は、家から結構近い。僕がまだ小学生のころ「ホームカミングデー」になると家族4人で毎年行つた。もつとも僕は東大に行くことをソフトクリームが作れるおっきい所ぐらいにしか思っていなかった。(食堂で自分で作る)。その日は東大をどこでも探検できる日だが、図書館だけは入れなかった。だから今回いきつたかった。どんなお宝があるのだろう。

ワクワクする!!



【東京大学総合図書館】
文京区本郷 7-3-1 ☎03-5841-2646 (自動応答)
利用時間：学外一般の方 平日の9時~17時
www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general

取材 / 愛華・有桜・創・誠矢・のぞみ・平蔵・聖樹・茉祐・悠仁・佑帆
文 / 悠仁 イラスト / 愛華

いざ夢の場所へ

赤門でみんなと待ち合わせて、僕が死ぬまでに行きたいところの一つであつた東京大学本郷キャンパスの図書館へ。

東京大学の図書館は、本郷キャンパス・駒場キャンパス・柏キャンパスに拠点図書館があり、さらに学部や研究所にも図書館があり、その全体を東京大学附属図書館というそうです。東京大学の学生と先生、職員しか本は借りれませんが、手続きを踏めば、一般人も入ることができます。今回は、僕たちが取材に行くということで、お忙しい中なんと二人の司書さんが案内してくださりました。

重厚なドアを開けると

僕は、何度か東大のキャンパスに來ているのですが、図書館はいつも入ることができませんでした。今回、初めて重厚なドアをあけて中に入りました。外観はとても大きく、中が改装中だと分かりませんでした。まず、ドアを開けると、セキユリティーゲートがあります。建物の



【NEC ネットズエスアイ株式会社本社】
 文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
 ☎03-6699-7000 (大代表)
 www.nesic.co.jp/

ワクワクする 仕事場に潜入!

景色がイイ!!

私たちは飯田橋にあるNEC ネットズエスアイ株式会社を見学しました。ドドン!と、とっても高いビルにNEC ネットズエスアイの会社があります。取材前にHPを見ると今までの私たちには考えられないような仕事をしているようで、大きいテレビ会議用のモニターがあるとも聞き、「働き方改革」というものはどんなものだろうと思いました。NEC ネットズエスアイ、そこには近未来の世界が私たちを待ち受けていました!



ご利用ありがとうございます。
 ございます。



運搬ロボット「Raley」

道順を覚えてペットボトルの水を持って来てくれました。小型でも可愛かったです。

NEC ネットズエスアイ株式会社は、元は通信網を設置する工事を行う会社(創業は1953年)でしたが、時代と共に会社は変化し続け、今では技術開発もする会社に発展しました。私たちの身の回りにもNEC ネットズエスアイは関わっています。例えば、スマホやパソコンの通信網、電車や飛行機の時刻表などです。その他にも宇宙開発では、「はやぶさ2」に協力。顔認証システムを設置したりもしています。また、支援活動として、「南極くらげ」や被災地応援を行っています。「南極くらげ」というのは、南極越冬隊を経験したNEC ネットズエスアイの社員さんが学校に行って、越冬隊の生活、南極の気候や動物などを紹介する出前授業です。被災地応援は、実際に被災地に行きボランティアをするそうです。

席は自由に見える

NEC ネットズエスアイの特徴は、社員の自席がないことです。あるのは長い机と椅子だけです。また、自分が座りたい席を自由に選べるので、一緒に仕事をする人同士で固まって座ることもできます。そうすることによって、「コミュニケーションが盛んになるそうです。また、社内がとてもきれいでオシャレです。取材の時の第一印象は、クリーンな印象だったので納得ができます!他にも営業さんの打ち合せスペースは香りも大事にしているそうです。

一番の特徴としては、私物が少ないということです。社員さんの私物は貴重品や最低限の荷物しかないため小型のロッカーに収まってしまうほどです。むしろここに入る量の荷物しか持ってこれないのです。社員さんはいつもパソコン1台を持って仕事をしています。何故このようなことができるのか?他の会社とはずいぶん働き方が違います。その理由として12年前の働き方改革が背景にあります。

働き方改革とは

NEC ネットズエスアイは2007年に大規模な働き方改革をはじめました。書類を全てデータに変換し、これまでかさばっていた紙の書類を破棄しようというのです。これには、社内でも猛反発がおきました。紙の書類が当たり前だった当時ではデータで情報をやり取りするのは考えられなかったからです。ですが、諦めずに会社側は努力しました。その結果現在のような紙の書類がほとんどないコンパクトな会社になったのです。

他にも、インターネットを使って自宅で仕事ができるので、育児休暇の後でも働きやすい環境となっています。

近未来の会社

私たちは、社内を見学している際に不思議なものを発見しました。それが、「音が吸収される会議室」です。そこは6人ほどが座れる椅子に、テーブル、そしてモニターがあり、頭上は音を防ぐ効果のある壁が吹き抜け状態になっています。実際に私達はその会議室に入り、お話を伺いました。外で待っている方々は本当に聞こえなかったらしく、とても驚いていました。私たちも、外からの音が吸収されていて、とても集中できる会議室でした。

テレビ会議システムでは、カメラを使って専用のスクリーンに通信先の相手の姿を映して会議をします。インターネットを使った遠距



フリーアドレスの様子



音が吸収される会議室



テレビ会議システム



こんな会社 で働きたい

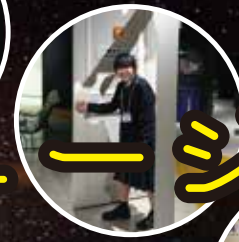
NEC ネットズエスアイにはハイテクな物が沢山あって見ているとワクワクしました。フードコートやクッションが仕事場にあることにもおどろきました。私も将来、NEC ネットズエスアイのような会社で働きたいなと思いました。取材させていただいても嬉しかったです。ありがとうございます!



取材 / のぞみ・春圭・聖樹・茉紘
 文 / 春圭・聖樹 イラスト / のぞみ



宇宙を体感 宇宙ミュージアム TeNQ



「宇宙ミュージアム TeNQ」は、3 駅6 路線利用可の好立地にある、最先端技術 × 宇宙 × 人間のコラボレーションが楽しめる施設です。男性や家族連れのみならず、若い女性にも東京ドームシティに来てほしいと、展示一つ一つが綺麗でフォトスポットを多く用意した画期的な施設になっています。さらに、ゲームをはじめとする体感的展示物も多くあるので、楽しみながら宇宙について学ぶことができ、興味を持つきっかけになります。また、クリスマスやバレンタインなど季節ごとに関連したイベントを催して、季節の雰囲気味わえる場所にもなっています。

【宇宙ミュージアム TeNQ】 ☎03-3814-0109
文京区後楽 1-3-61 営業時間：平日 11 時～ 21 時 / 土日祝・特定日は 10 時～ 21 時
東京ドームシティ黄色いビル 6F 受付終了は 20 時 www.tokyo-dome.co.jp/tenq/

トンネルが誘う宇宙空間へ

「暗い空間で不思議な音が響くトンネル。」そのトンネルを抜けた先は、白い壁が鮮やかに光っている広い空間で、プロジェクションマッピングを用いた映像が心を宇宙への想いで包みます。宇宙への想いで包まれた後、「シアター宙」で宇宙を目の前で感じる事ができます。「宙」で見ることが出来る映像は「Another point of view」「Cosmos 光の音が奏でる 1e8 億年」「宇宙グランドツアー」の3種類。15分に一度上映され、浮遊感や臨場感を味わうことで私たちに宇宙を身近に感じさせてくれます。シアター宙は、TeNQの目玉であり、「一見プラネタリウムと近い感じですが、上から宇宙を覗き込むという新しい形のシアターになっています。これまでとは違った視点から無数にあるであろう宇宙の顔の一部を感じられる一番の展示です。トンネルから始まった最先端の映像技術が私たちを神秘的な宇宙空間へ誘っていきます。

「サイエンス」エリアは、東京大学の研究室があり、研究結果がリアルタイムでモニターに表示され、まるで研究に参加しているかのような体験ができます。今は「はやぶさ2」や「りゅうぐう」の模型やフォトスポットなどの展示があり、その他、星の誕生や太陽、火星のように星ごとに章で分けられています。火星のコーナーには火星の隕石を触ることが出来るスポットがあります。

身をもって体感

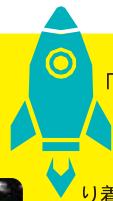
文字や映像で宇宙を学んだ後は、実際に身体全体を使って宇宙を



感じることが出来ます。「イメージネーション」エリアでは、いくつかある体験展示のなかでも、地球や木星などの太陽系惑星やイオ、エウロパなどの衛星を一千万分の1で表したテーブルがおすすめです。見るだけでなく、テーブルに開いた穴に入ってみることもできます。狭々、広々を感じて、より一層惑星の大きさを感じられます。個人的に「宙」が一番宇宙を視覚でも感じられると思いました。

「宙」に入ることが出来ます。私たちが取材した時は篠原ともえさんのコラボ展示が行われていました。過去には星の王子さまやセーラムーン、君の名は。ともコラボしていたそうです。コラボを通して、宇宙に興味のない人にも展示を見てほしい、宇宙を知るきっかけにしてほしいと、取材を受けてくださった住吉さんがおっしゃっていました。そして体験型展示の多い「イメージネーション」エリアの先へ進んでいくと、暗闇の中で無数の星が映し出されて

アストロボールで遊んでみよう!



「イメージネーション」エリアにあるゲームの一つのアストロボール。アストロボールはボールをタブレットで動かして板の端っこのゴールに時間内にたどり着けば成功。成功すればロケットを打ち上げることが出来ます。コースはいくつかあります!でもこれをゴールさせるのは結構難しい…。私もゴールまで行けなかったです…。簡単そうに見えるけれどコース自体も難しいし、慣れるまではタブレットで操作するのもなかなか難しいです。上手く動かせなかったり、そもそもコースの板の上に乗せるところから難しかったりするので、楽しいけれど難しい!でも5人同時に遊ぶことができるので、そのうちの1人でもクリアができればチームとしては成功なのでロケットを打ち上げることができます!一人でやってももちろん楽しめますが、みんなで遊ぶと結構盛り上がるのでぜひやってみてください!





楽に登ることが出来ます。「これは、後半になってきて疲れが増すなかで、手をのばして登ることの大切さがよく分かりました。」

階段を登るのと同じ原理
私が登る時に意識したことは主に二つあります。一つ目は、手をのばすことです。登ろうと必死になると、手は体重を支えきれません。手をのばすことで、曲げた状態よりも

は、壁が反り返っていたり、ホールドと呼ばれる突起物の数が少なくなったり、持ちにくくなったりしてクリアするのが大変だと思えます。



二つ目は、白いチヨークの粉がたくさんついているホールドの部分に手を置くことです。登ってみると、登るという動作に集中してしまい、いかに楽に登るかということばかり考えてしまいます。チヨークで白くなっているホールドは、それだけ多くの人がそこを使って登ったという証なのです。だから、そのコースをクリアするためのヒントだと思っています。

また体験する前は腕の筋力が必要なのではないかと思っていましたが、スタッフさんが「ボルダリングは階段を登るのと同じ原理なんですよ。」とおっしゃっていたことから、足でふんばって重心を下げるのが大切で、手の力だけで登っているわけではないことが分かりました。

コミュニケーションの場
このお店は、ビル街の一角にあるということもあり、仕事帰りの利用客が多いそうです。ボルダリングをする中でシエイブアップをしたり、ストレス発散をしたりするだけでなく、「コミュニケーションの場」として利用されているそうです。年代が違ったり、普段は全く別の場所にいる人と、ボルダリングという共通点で仲良くなる事が出来るというのは、とても良いことだと思いました。私たちが取材に行った時も真剣にボルダリングに取り組み姿だけでなく、休憩の際には和やかに話されている姿も見えて、お店にずっといたくなるような雰囲気でした。

スタッフの方も、ボルダリングに対して熱い思いを持っていらっしゃるのので、相談などしやすいのでは?と感じました。

難しいコースをクリアした時の嬉しさや、クリア出来なかった時の悔しさが、ボルダリングの良さ、



【B-PUMP TOKYO AKIHABARA】
文京区湯島 1-1-8
☎03-6206-9189
営業時間：12時～23時
土曜日・祝祭日は11時～22時
日曜日は10時～21時
pump-climbing.com/gym/akiba/



東京の中心でクライミングができる B-PUMP TOKYO

ビーパンプ 秋葉原店



歳を取ってから運動と言え運動をしてなくて、体が最近思ったより動かないなんてことはありませんか？運動しようとしても何からしていいかわからなかったり、毎日忙しくてそんなに長い時間運動は出来ない…なんて思ったことはないですか？
実はその悩みはある室内スポーツで解決出来るんです。それがこれから紹介するボルダリングです。ただ最初のうちは誰もが難しそうなどと不安を感じると思います。最初は僕たちも不安でしたが、ある1つのお店で変わったのです。

取材／有桜・誠矢・茉紘 文／有桜・誠矢



Let's ボルダリング
「大都会の隠れ家」そう例えられるボルダリングジムが湯島にありました。
そびえ立つ大きな壁を近くで見た私は、「こんなに高い壁に登ることが出来るのかな。」と楽しい反面少し心配もしていました。けれど、その心配はすぐに消えました。ボルダリングには、初心者でも登れるコースがたくさんあるからです。

このお店では、コースが8種類にレベル分けされていて、それぞれどの位のレベルなのか色で判別できるようになっています。私は初めての体験だったので、一番簡単なピンク色と緑色のコースを登りました。その2つのコースは、初心者の私でも楽しく登ることが出来ました。これより難しいコース



りがあるということです。
奥さんにオススめのパンを聞くと「そうですね。オススめはクロワッサンですね。」と答えてくれた。理由は、ご主人はクロワッサンが好きで、より一層手間をかけているからだそうです。
次に作るのが一番大変なパンを聞くと「一番大変なのはフランスパンですね。」と答えてくれました。理由を聞くと、「材料・工程がシンプルだからこそ、その日の気温や湿度などで味が変わりやすいから、見極めが難しい。」と答えてくれました。この答えは驚きでした。僕はフランスパンよりも、最近売り出されたアップルキャラメルの方が難しいものだと思っていましたからです。ちなみにアップルキャラメルは IENA の最新の商品です。



新商品開発の裏側

ここでふと思ったのが、IENA は新しいパンを作る時はどうしているのかということなんです。どのお店でも同じですが、定期的に新しい商品を出していかないとお客さんにあきらめてしまいます。

聞いてみると、まず始めに作るパンのジャンルを決めるそうです。次に、他の

子、アイスなど色々なものを食べたり、時には季節感を意識したり、知人に聞いてヒントを得たりなどしてオリジナルのパンを作っていくということです。今は、春に向けて新しい商品を考えているらしいので、完成したら食べてみたいと思います。
また、パンを入れる袋もすべて手作業でした。紙袋にロゴを印刷するのではなく、一つ一つにロゴの入ったスタンプを押しています。このことからお客様のことを考えていることが分かります。

丁寧なパン作り

読者の皆さんに一番伝えたいことは、IENAさんは、パン1つ1つをすべて丁寧に作っているということです。ご主人がすべてのパンを1人で作っていますし、それ以上に愛情をこめて作っているから、全部のパンの質が高く、美味しいという口コミが多いのです。IENAさんの目標を聞いてみると、お客様においしいものを提供したいということでした。IENAさんのパンはともおいしいので、ぜひ一度寄ってみてほしいと思います。



材料はこだわったパン屋さん

IENA

【IENA】
文京区小石川 2-7-14
ハリメゾン小石川 1F
☎03-5844-6730
営業時間：7時～19時半（無くなり次第終了）
定休日：月曜日・火曜日（祝日と重なる場合は変更あり）

取材／直起・望々香・春圭・優海
文／直起 イラスト／望々香



春日通り沿いにあるパン屋さん

後樂園からほど近い場所にあるパン屋さん「IENA」は、佐野さん夫婦が営業しています。

佐野さんのご主人は20年前からパン業界で働いていましたが、7年前に「独立したい」という気持ちからIENAを創業しました。IENAの店名は、佐野の「佐」の文字を分解してイエナをアルファベットにしてIENAとしたということです。

IENAの特徴は、土日のお客様の混み具合です。朝は、朝食用や通勤する人がパンを買うように7時にオープンします。正午頃には多くの人が店に押し寄せます。そして、土日の陽が沈むころには、ほとんどのパンが売り切れています。佐野さんの奥さんから話を聞くと、1ヶ月の中では、月の下旬、中旬、下旬でお客様の混み具合が変わるそうです。給料日前や平日に行った方が穴場です。

また、IENAのパンは買いやすいと思えました。IENAは、材料が高くなってしまうと、なるべく値段は変えないそうです。また、甘味料はあまり使わずに、小麦粉など素材の味を生かすこだわりがあるそうです。

人と人を繋ぐ

今川焼

千駄木



【今川焼 千駄木】
 文京区千駄木 2-33-10
 営業日：金曜日・土曜日・日曜日
 営業時間：11時～18時

取材／有桜・茉紘・佑帆
 文／佑帆・茉紘 イラスト／佑帆

地元密着の

団子坂のお店

千駄木駅を出て、交差点を渡ると、そこには創業16年の今川焼屋さんがあります。団子坂方面改札を出て、階段を上がり、目の前の横断歩道を渡って、緑色のひさしの店が今川焼千駄木です。営業は金・土・日曜だけ。中身は3種類の

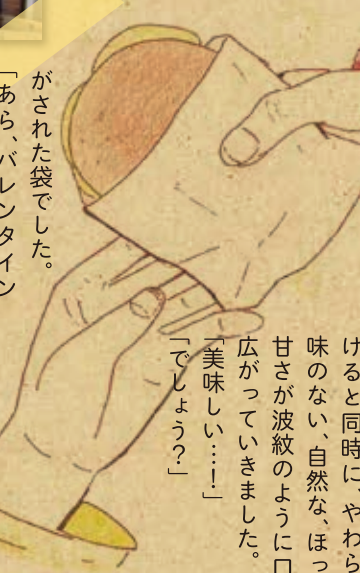


中から選び、全て100円と激安。ひっきりなしに老若男女さまざまな人が買いに来る。地元密着の今川焼屋さんです！
 そんな「今川焼」千駄木で働く一人の女性、通称「おかみさん」のこの店は、団子坂の道を行く人々にとって憩いの場なのです。そこでは出来立て、ほかほかと湯気をあげる今川焼が待っているのだから。

国産の自然な味と

花咲く日常会話

「いただきます！」
 寒空の下、かじかんだ手でほくほくの今川焼を口に運びます。とろりとした、舌触りの良く滑らかな餡。これはしるあなか！
 しゅっと舌の上で餡がとろけると同時に、やわらかな雑味の無い、自然な、ほっとする甘さが波紋のように口全体に広がっていききました。
 「美味しい……！」
 「でしよう？」



がされた袋でした。

「あら、バレンタインチョコ？まあ嬉しい！」

うんうんと、頷きながら袋を差し出す男性。その後、2人はつぶあんとしろあんを一つずつ買って帰りました。

「このお店をやっている良かったのはやっぱり……。人と触れ合えたことかしらね。」

ここ最近の「和ブーム」で和菓子を好むようになった外国人やカスタード味を食べたいと

ねだる子ども、

車いすの男性のよ
 うな常連の方。この店には、本当に色々な



カウンターから身を乗り出すおかみさん。
 「うちの餡は100%北海道からの国産だから、小豆と水飴の自然な甘さよ。」
 確かにこのご時世、伝統的であるはずの和菓子にも、人工甘味料や着色料が使われています。それらに頼らない懐かしい甘さが、おかみさんが作る今川焼の魅力の一つなのです。と、その時。

「こんにちはー。今日も来たわよー。」
 振り返ると、ニコニコと手を振る初老の女性と車椅子に乗って眠たげな男性がお店にきました。女性のお父さんだろうか。
 この店の常連らしい。
 「目が見えないのよ、このおかみさん。」
 カウンターの端に寄る私たち、おかみさんがそっと耳打ちして、男性に向き直るとおかみさんは、
 「こんにちは。今日は良いお天気ですね。」と男性に話しかけました。その声を聞いて男性は目をいっぱいまで細くして笑いました。そして「ゴソゴソとポケットから何かを取り出す。小さなラッピング



人が来ます。元々おしゃべりが好きだったというおかみさんは、店を始めてから本当に沢山の人と出会って嬉しかったと言いました。

もっと沢山の人に

会いたい

店の営業日は金・土・日曜日だが、おかみさんはそれ以外の休業日に友達とランチに行ったり、大好きな料理をしたりと、とても充実していて幸せという事です。

「この先何年、何十年とこのお店を続けて、もっと沢山のひとと出会えたら良いわ。」
 と言うおかみさんの言葉が印象的でした。

あなたも寒い時期に、「今川焼千駄木」で心も身体も温まってみてはいかがでしょう。





妻戀神社、この神社はコンクリートの中にひっそりとたたずむ緑豊かな場所。そんな神社の歴史は4世紀にさかのぼります。

4世紀ごろ、日本武尊は景行天皇による日本統一を命ぜられ、関東地方へと旅立ちました。東京湾を走水の渡りから船で渡るときに暴風雨に遭い、船が沈みそうになった時、妃の弟橘媛命が「夫の身代わりとして海に入り、海の神の心を鎮めましょう」と詠み海に身を投じました。すると、海は鎮まり日本武尊は房総

半島に上陸し、関東を平定することに成功しました。その後、日本武尊が京へ帰る途中、上総の国碓日嶺にて東南の方向を望みながら「吾妻者耶」と恋い慕いたもうたとの意を取り「妻戀明神」と号しました。

「吾妻者耶」という言葉から関東地方のことを「あづま、あずま」と呼ぶようになったとも言われています。また、日本武尊がこの際に、稲城を置き倉稻魂命を祀り、イナギの神社と呼ばれていたが、9世紀初頭に第52代嵯峨天皇の勅命により関

東惣社に列し、最高位である正位を賜り、最高位全体を支配する役である関東總司妻戀大明神と唱えたとされています。

神社の本殿が建てられる前には野宮陣地である行宮があり、その後この神社は建てられました。また、湯島は「聖なる水際の地」という意味があり、昔から開墾されて米が栽培されており、五穀の神の稲荷として妻戀稲荷となった。もとは妻戀台にあったが振袖火事の後、萬治3年（1660）に今の地に中興遷座しました。大正12年の関東大震災と昭和20年の大空襲で2度類焼し、書物も焼失してしまいました。しかし、9年後に有志の方々が神社を復旧させ今にいたります。

祀っている神は稲の神である倉稻魂命、武神、国土神（農業神）である日本武尊、弟橘媛命の3柱です。また、妻戀神社は日本七稲荷のうちの一つになっており、東京都内に

Information

妻戀神社も関わっている少し変わった祭りがあります。それは、「ねこまつり at 湯島」です。その日だけは、ねこのイラストが加わった特別な御朱印を発行してもらえます。ねこのイラスト部分は毎年変更されているそうです。いつもは閑静な住宅街なのに、この御朱印を求めて周辺に大勢の人が集まったようです。御朱印は14時まで整理券を買わないと限定の御朱印はもらえませんので、お早めに。



松沢さん
ありがとうございました



は他にも王子稲荷神社があり、「名所江戸百景」にも描かれています。

神話の恋物語へ

ようこそ

取材／沙彩・創・平福・信
文・イラスト／創・平福・信

妻戀神社



日本神話に出てくる有名な神といえば、草薙剣を用いた日本武尊が挙げられます。しかし、皆さんはその日本武尊の配偶者の一柱の、弟橘媛命を知っていますか。彼女は日本武尊との東京湾の渡航の最中に荒ぶる海神によって荒れた海にその身を一柱として犠牲にした女神です。そんな、日本武尊と弟橘媛命を祀った神社がこの文京区内、JR 御茶ノ水駅から徒歩10分のところあります。ぜひ、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

MITAMIYO!!

MAP

Teens



地図 / 茉紘
イラスト / 佑帆
らくがき / 平藏・のぞみ・優海・円花



ぶんねこの会

●ぶんねこの会 P.04

bunneko.sakura.ne.jp/

FB:www.facebook.com/Bunnekonokai/

●東京大学総合図書館 P.08

文京区本郷 7-3-1
03-5841-2646 (自動応答)
利用時間: 平日 9:00 ~ 17:00 (学外一般の方)

www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general

●IENA P.16

文京区小石川 2-7-14
ハリメゾン小石川 1F
03-5844-6730
営業時間: 7:00 ~ 19:30 (無くなり次第終了)
定休日: 月・火 (祝日と重なる場合は変更あり)

●NECネットエスアイ株式会社

本社 P.10
文京区後楽 2-6-1
飯田橋ファーストタワー
03-6699-7000 (大代表)

www.nesic.co.jp/

●宇宙ミュージアム TeNQ P.12

文京区後楽 1-3-61 東京ドームシティ黄色いビル 6F
03-3814-0109
営業時間: 平日 11:00 ~ 21:00
土日祝・特定日 10:00 ~ 21:00
受付終了は 20:00

www.tokyo-dome.co.jp/tenq/

●文京区青少年プラザ b-lab P.06

文京区湯島 4-7-10
03-5800-2731
開館時間: 毎日 9:00 ~ 21:00
中学生の利用は 20:00 まで

b-lab.tokyo/

●妻恋神社 P.20

文京区湯島 3-2-6
社務所正面にて連絡先を公開中

www.tsumakoi.jp/

●B-PUMP TOKYO AKIHABARA P.14

文京区湯島 1-1-8
03-6206-9189
営業時間: 12:00 ~ 23:00
土・祝 11:00 ~ 22:00
日 10:00 ~ 21:00

pump-climbing.com/gym/akiba/



編集後記

参加してくれたメンバー(五十音順)



愛華



有桜



伊織



薫子



沙彩



新



大朗



創



朋



誠矢



直起



のぞみ



望々香



春圭



郁哉



平藏



信



聖樹



円花



茉紘



優海



悠仁



結佳子



佑帆



楽しく描く！描る！
子どもたちが作るローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト

MITAMIYO!!の制作活動をはじめとした「子どもたちが作るローカルマガジン COLOMAGA project」は2018年のキッズデザイン賞を受賞しました。



社会福祉法人
文京区社会福祉協議会

MITAMIYO !! Teens Vol.1

中学生と専門家のコラボレーションによる地域情報誌の制作活動プロジェクト

この事業は文京区社会福祉協議会の「Bチャレ」(提案公募型協働事業)の助成事業です。

発行者: クリエイターチーム カラフル

編集: クリエイターチーム カラフル

デザイン: 株式会社カラーコード

浅井由剛・黒澤夏子・爲壮京子

デザイン協力: 成田憲明・西山誠

事務局: 木村有花

講師: 藤井将(編集者・プランナー)

八幡宏(フリーカメラマン)

有川美紀子(フリーライター)

協力: 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション フミコム

後援: 特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議

問い合わせ: 株式会社カラーコード

〒101-0047 東京都千代田区千代田1-10-8-2F

TEL 03 5577 3150

表紙: 優海

題字: のぞみ(MITAMIYO!! Vol.1 メンバー)



株式会社カラーコード / 代表取締役
クリエイターチームカラフル / 代表

浅井 由剛

文京区でも中学生と一緒にローカルマガジンを作ることが出来ました。ちょうど子どもから大人に変わり始めるこの時期は、創ることに興味を持てるかどうか大事な時期なのです。自分で考えて、自分で作って、人の気持ちを動かして、社会を変える。この楽しさを、中学生の時に自分のものにしてもらえたら、本当になんの仕事でも出来るのです。



株式会社カラーコード
クリエイターチームカラフル
/ デザイナー

爲壮 京子

自分の中に確信のようなものがある、けど何で言葉で表現して良いかわからない...というもやもやした気持ちが増えてきたのがこのくらいの年代だったな、と思いつきました。今回、ペルソナやラフを考えたり...といった慣れない作業に戸惑ったと思いますが、このプロジェクトを通して、少しでもこのもやもやがクリアになるきっかけを作れていたら良いと思います。



pal system
編集者・プランナー

藤井 将

何かを「知る」って、とても楽しいコト。でも「知ったことを誰かに教えてあげて、その人も楽しくなるのを見る」と、もっともっと楽しくなって。その「誰か」は、また「別の誰か」にそれを教えてあげると、その「また別の誰か」はまたまた楽しくなって、さらに「そのまた誰か」もどんどん楽しくなって、いつか世界中の人が楽しくなる時がきたら、それが「編集」かもよ。



カメラマン

八幡 宏

朝起きて窓の外の青空を綺麗だと思う。風呂上がりに腰に手を当てて牛乳飲んで旨いと思う。赤ちゃんの笑い声を聞いて可愛いと思う。なんでもないと思っている毎日でも、なんだか放っておけない場面に会おう。そんな時に写真を撮って欲しい。君の小さな感動が誰かの感動になって、どんどん広がる。写真はそのためであると思ってる。



株式会社カラーコード
クリエイターチームカラフル
/ デザイナー
黒澤 夏子

初の中学生版ということで、今回はみんなにドラフト(設計図)を描いてもらう事から制作が始まりました。まだ記事も何もない状態で紙面の構成を組む作業は大人でも難しいことですが、悩みながらも前向きに取り組んでいる姿がみられました。悩んだ分だけ、よいものが生まれることを、雑誌の完成をもって体感してもらえたら嬉しいです。



株式会社カラーコード
クリエイターチームカラフル

木村 有花

今回は特に絵を描くこと・デザインに興味がある、取材や企画を立てることをしてみたいという学生に集まってもらいました。取材でも原稿制作でも自分の思ったことや伝えたいことを出すって不安で難しいと感じることもあるけど、吟味を重ねた文章やイラストには彼らのプライドがチラ見えているように思えます。「中学生の女子」に伝えたい文京区の素敵なところ、楽しんで読んでもらえればと思います!



現場取材にこだわる
フリーライター

有川 美紀子

ワクワクしたり、感動したり、大好きな人ができたりした時、ただ「ワクワク!」「感動!」「大好き!」だけでなく、「じっとしていられなくて飛びはねたくなる」「心がふるふる震えた」「胸の中に明かりが灯るみたい」なんて風に、どうやってこの気持ちを伝えようって考えないかな?気持ちと言葉がピッタリはまる快感を探ってみて!きっと文を書くことが楽しくなるよ。



地域連携ステーション
フミコム

田邊 健史

根本 真紀

子どもたちが主体的に考え、取材し、学びを表現する。子どもの「やってみたい」をプロのクリエイターがサポートして一つの作品を創り出していく。この取り組みを通じて、子どもたちの創造性を育むと同時に、まちでさまざまな営みをしている人々の存在を改めて認識し、新たなつながりが育まれていくチャレンジ、私たちも引き続き応援しています!

「創り出すって楽しい」未来を一緒に作りませんか？

創造力は生きる力。何かを創り出すことが楽しければ、創ったものは人のためになり、社会をより良くして、地域のつながりが強くなります。

わたしたちの活動

「COLOMAGA Project」は子どもたちが自分の住む「まち」を取材し、プロと一緒にその「まち」オリジナルのローカルマガジン（地域情報誌）を作るプロジェクトです。知らない人と出会いコミュニケーションを取り、自分のセンスで写真を撮って、イラストを描いて、そして人に伝えるために文章を書き、それをプロのクリエイターがクオリティの高い作品に仕上げます。こうした雑誌を作る過程はすべて、クリエイティブな行為で「創造性」を育てます。そして、取材を通して出会った人たちとのコミュニケーションは、世代を超えた交流やキャリアの体験となります。そうして出会った人たちが多ければ多いほど、その「まち」は自分の「まち」となって自分の居場所になっていきます。

活動の3つのコンセプト



わたしたちのビジョン

創造力とは、自分自身をみつめ、自分が思ったこと考えたことを表現し、より多くの人々に発表する活動を繰り返すことで育まれます。ローカルマガジンを作る活動は、この創造力を醸成する実践活動です。子どもたちのクリエイティブな力を刺激して、未来の社会をより楽しく、より面白い世界にする人材を育成し、自分の周囲の人々や地域を愛する心を醸成することで、未来はより良い社会になると信じて活動をしています。



SDGs ESD-J KIDS DESIGN AWARD

「COLOMAGA Project」は SDGs「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の17のゴールの中で「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」を達成するために活動しています。また、ESD-J「持続可能な開発のための教育」の「未来を変える人づくり」活動として認定されています。そして2018年、経済産業省が制定した「キッズデザイン賞」を子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門において受賞することができました。

SDGs、キッズデザイン賞と世界に認められた活動です。



未来を一緒につくる仲間を募集しています

参加のしかたは3種類

1 自分の住んでいる町でもローカルマガジンを作りたい人！

自分たちの住んでいる「まち」でもオリジナルのローカルマガジンを作りたい方は、ぜひご相談ください。わたしたちの仲間が、企画・告知・集客・取材・制作・デザイン・出版のノウハウをお伝えし、新しい雑誌創刊に向けてサポートさせていただきます。



2 デザインしたり、子どもと一緒に取材に行ったり、活動を手伝ってくれる人！

ぞくぞくと自分たちの「まち」のオリジナルのローカルマガジンを作りたいというチームの方たちが増えています。COLOMAGA Projectの活動には多くの人手が必要です。デザインをはじめ、取材時の子どもたちのケア、取材先との交渉や、設置場所の開拓、海外への拡大、翻訳や、文字打ちなど、様々なサポートが必要です。

3 この活動を支えてくれる人！

法人の方へ

ぜひ御社のCSR活動として、SDGsを達成するためにも、COLOMAGA Projectの支援をお願いいたします。また、この仕組みを御社の福利厚生活動として、社員や社員のご家族と一緒にオリジナルの冊子を作る取り組みもご提案できます。

個人の方へ

まずは、ワンポイントサポーターとして
①¥3,000 ②¥5,000 ③¥10,000
のご寄付をお願いいたします。

ご寄付の振込先

三菱UFJ銀行 神田駅前支店 普通口座 0880395
口座名義：クリエイターチームカラフル 代表 浅井由剛

書く！描く！撮る！
子どもたちが作るローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト **project**



この冊子は、文京区社会福祉協議会の「B チャレ」（提案公募型協働事業）の助成事業として活動を行い制作しました。



社会福祉法人
文京区社会福祉協議会

文京区の中学生在がプロのクリエイターと一緒に作ったローカルマガジン

MITAMIYO!! Teens 【みたまよ!!ティーンズ】 Vol.1

2019年3月発行 発行者 クリエイターチーム カラフル 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-10-8-2F